

■ 設 計 主 旨（コンセプト）（案）

1. 周辺地域との共存を図る施設配置計画

都市型住宅街に位置する計画地として、周辺環境を理解し、地域の生活環境に配慮を行います。東側、北側の住宅に対し、建物隣棟間隔を確保し、圧迫感の軽減や日影の影響、校舎からの視線などを考慮した配置計画を行います。

2. 9年間の教育課程に一貫性を持たせた教育環境整備計画

地域の2つの小学校、1つの中学校の統合再編による一体型の小中連携校の特性を活かせる、学年を超えた「異学年交流」が可能なコミュニケーションスペース（多目的室・ワークスペース等）を整備します。

また、小中学校の教員間の意思疎通の図れる連携強化に寄与した計画とします。

3. 教育環境の変化に対応可能な計画と地域開放を集約した施設計画

教育体制、教育方針の変化による学習環境変化、施設の需要に対応可能なフレキシビリティの高い建築計画とします。また、地域開放施設を低層階に集約し、校舎と動線分離が可能なセキュリティを考慮した施設計画を行います。

4. 環境に配慮し自然エネルギーを取り入れたエコスクールの実現

光、風、水といった自然エネルギーを最大限に活用し、自然採光、自然通風、雨水の利用を取り入れた施設計画とします。また、地中熱を利用した「クール・ヒートチューブ」等の採用とともに、太陽光パネルの設置により「環境学習」の可能な施設計画を行います。

5. 歴史の継承と地域のまちづくりを考えた、安全・安心な地域施設整備

住吉、美野島地区の伝統や文化の歴史の継承を行い、地域に親しまれる施設づくりを行います。また、施設の耐震性を確保した災害に強い施設を計画し、地域の避難施設としての役割を担います。死角の排除とセキュリティの確立により、安心できる施設計画を行います。

■ 自然エネルギーを最大限に取り組む施設計画 ～環境配慮への今後の取組み検討内容～

- ・ 最上階の室内断熱性の向上が可能な『屋上緑化』
- ・ 西日の強い日射を低減する『壁面緑化』、『縦ルーバー』
- ・ 建物を分節し、長い廊下に対して確保した『自然採光・自然通風』
- ・ グラウンドへの散水、便所の洗浄水を『雨水の再利用』
- ・ 雨水の外部への流出抑制のため、外構の『透水性舗装』
- ・ 『地中熱を利用』した効率的な「クール・ヒートチューブ」など
- ・ 『太陽光発電パネル』を設置